



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2018年11月05日 第893号「週刊五十嵐レポート」

もの作りは簡単ではない

11月3日付、朝日新聞に「岐路に立つゾゾスーツ」という記事。

衣料通販サイト「ゾゾタウン」を運営するゾゾが手掛けるPBの「ゾゾスーツ」が岐路に立っている。採寸専用の無料スーツで、これを着て注文すればぴったりの一着が届くと話題を集めたが、10月末に無料スーツの配布を縮小する方針を発表。

ゾゾのPB事業は2019年3月期に200億円の売上目標に掲げたが、上半期の売上は6億円余にとどまった。生産体制に不備が生じたことが低迷の要因。男性用ビジネススーツは、適切に縫製されていない不具合が発覚した。今後は、生産に問題がないことを確認するまでは新しいプロダクトを世の中に出さないと言った。

2ヶ月前の9月初旬、私は墨田区の縫製会社の社長と話をしていて、「ゾゾスーツはダメらしい。クレームの嵐。届いたスーツが丈が短かったり、寸法が合わないものが多数出たらしい。それで、ゾゾの担当者がやってきて、当社にお願いできないかと打診があったが、丁重に断った」。

素朴な疑問、「ゾゾスーツで体形のデジタルデータを収集しているわけだから、それがなぜ、出来上がったスーツの寸法が合わないのか？」。

「服は人と機械が作る。つまりアナログ。デジタルデータをアナログデータに変換が上手くできなかったのでは」。服は型紙(平面)をおこす。服は3Dプリンターからできるわけではない。

商品3分に売り7分。商品力が3に対して営業力は7になり、営業力の方が商品力より倍以上のウエイトが高い。ゾゾの強みはそこにある。ゾゾであれば、それなりの商品であれば、売れると考えた。しかし、その商品が不良品では売れない。販売会社がもの作りに参入して失敗するケースをよく見る。

「製品企画(創る)」「設計・開発(作る)」「生産(造る)」「販売」。もの作りの各プロセスに難度があり、そこに付加価値もある。5年先、10年先にはゾゾスーツも良いものになるかもしれない。

ちょっと
気になる出来事

10月31日付、日経新聞に「コンビニ収納代行拡大」という記事。

コンビニで公共料金やネット通販の代金を支払う「収納代行」が拡大している。推計では、2017年の取扱高は11兆6,000億円となり、5年間で3割増えた。世の中はキャッシュレス化に進んでいるなか、現金派の若年層らが根強く存在する。隠れた成長市場。

日本通信販売協会の調べでは、2017年に通販代金の支払い手段で最も多かったのがクレジットカードの63%、コンビニ払いは44%と続く。

クレジットカードの利用を避けたがる人がいる。カードを使いすぎないように堅実な消費行動がある。私もカードを極力使わずに、現金払いをしていた。それは、リース会社時代、コンサルティング会社時代に借金まみれの法人や個人を多く観てきた。カードは借金。油断するとどんどん使う。現金であれば、ある範囲内でしか使わない。堅実経営につながる。

一方、キャッシュレス化は自然の流れ。今はカードの使用明細はメール(サイト)で解る。随時把握できるようになった。今は、キャッシュレス化に備え、堅実なカードの使い方をテストしている。



一口メモ
知識

荷車を引いて生きているような人生

私たちの人生とは、荷車を引いて生きているようなものです。

その荷物とは、仕事や家庭や生きる重さです。同じ重さの荷物であっても、人によって、あえぎながら荷物を引く人もいれば、楽々と荷車を引く人もいます。

この違いは、心に執着があるかないかなのです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時

「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

